

# 6

## 私が目指す奈義町の未来

私は、小学生の頃に参加した奈義町の「な  
 ぎの子塾」をきっかけにパソコン操作の面白  
 さを知りました。そして、中学・高校の時の  
 スライド制作を通じて、情報を整理し、人に  
 分かりやすく伝える喜びを実感しました。こ  
 の経験が、情報系の分野で社会に貢献したい  
 という現在の目標につながっています。将来  
 は情報系の大学へ進学し、アプリ開発、Wi-Fi  
 設計、セキュリティといった社会に不可欠  
 な知識と技術を学び、生まれ育った奈義町で  
 その力を地域に還元したいと考えています。  
 しかし、大学進学を考えたとき、奈義町が  
 抱える二つの課題に直面します。一つは近隣  
 に大学がないため、進学希望者が地元からの  
 通学を極めて困難とする点です。そのため、  
 大学進学には多額の費用がかかります。さら  
 一人暮らしの費用が加わることで、進学を諦め  
 ざるを得ない人もいます。もう一つは一度町  
 を出た人が、生活の利便性から地元に戻らな  
 いこともある点です。

また、同じ志を持つ人が利用できる、プラ	イバシーが守られた個別ブースを、学生から	社会人まで利用しやすい時間帯に開放するこ	とを目指します。	この学習スペースは、単なる自習室ではあ	りません。大学で「Wi-Fi設計やセキュリティ	を学ぶ私が、その知識を活かして安全なネッ	トワーク環境を構築・管理することで、利用	者に安心を提供します。さらに、このスペー	スを拠点に、高齢者向けの「教室の開催や町	のウェブサイトのセキュリティ診断といった	実践的な形で町の活動に協力し、学びを地	域に還元する仕組みを確立させます。	この環境を整えば、進学や資格取得、スキ	ルアップを目指すが、年齢や立場に関係	なく奈義町に住み続けながら成長できる町に	なります。私がパソコンの面白さを知った奈	義町で、次の世代が学びを諦めずに成長でき	る環境を、私自身の知識と技術で創り上げて	いきます。
---------------------	----------------------	----------------------	----------	---------------------	-------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-------------------	---------------------	--------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------

レ